

# 仲間の声

■何の行事もなく、つまらない1年でした。来年は今年の分の2倍楽しいことがありますように。

真木 純子さん(堺市職労)

■先の見えないコロナとのたたかいは何時まで続くのでしょうか。コロナに限らずとも、これからの仕事のやり方、システム等については、新たな時代に対応するため転換の時期にあると強く感じています。

榎原 悠司さん(吹田市職労)

■マスク着用が当たり前となり、今はマスクをしていないことがあたたかも服を着忘れた感じとなっていました。

板橋 謙介さん(堺市職労)

■コロナも終息しないうちに、インフルエンザも心配な季節になってきました。バランスの良い食事を摂り、休息・手洗い・マスクは必須です。

伊藤 友子さん(高石市職労)

■やっと涼しくなり、秋を感じられる季節となりましたが、台風シーズンでもあるので、十分に気をつけていかなければなりません。

谷 真衣さん(大阪府職労)

■総理大臣が変わっても、「モリカケ・桜」の件は納得できません。国民に向け説明してほしいです。

今泉 政信さん(枚方市職労)

## 「都構想」NO! より良い学童保育へ保護者全員との対話を

(大阪市学童保育指導員労組)

大阪市学童保育指導員労組は、11月1日の住民投票勝利に向け、9月に独自ビラ1500枚を作って、まきまきりました。10月はじめには2弾ビラ3000枚を各施設に配布、最終版にむけて第3弾ビラを出す予定です。

この間、学習会や会議を重ね、「大阪市がなくなったら、今の学童保育の条例はどうなるのか」「今より良くなることはないとわかった」「保護者には自分自身の言葉で伝えることが大切」など意見を出しあい、独自ビラにもそのことを反映しました。



組合機関紙臨時号では、組合員の「がんばり」「行動」などを共有し、励みになる内容にしました。また、組合役員がデザインしたステッカーも3000セット作り、「楽しく元気に、市内全施設の指導員・保護者全員との対話をやりきろう」と、とりくんでいます。

大阪市の学童保育施設は学校外にあり、狭いスペースのなかで、子どもたちは毎日過ごしています。働く保護者の安心、放課後の子どもたちの居場所、それを守り豊かにすることこそが指導員の就労を守ることにもつながります。私たちの要求実現に「都構想」はいりません。必要なのは学童保育施策の拡充です。そこに確信を持ち投票日までがんばりぬきます。

# 仲間の情報

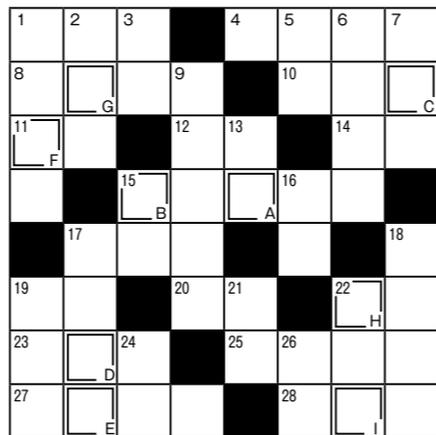
## ケキと坑争???



## クロスワードパズル

(解き方)二重ワクの文字をA~Iの順に並べかえてできる言葉を答えてください。

出題者: 山本汎昭さん



ヒント: 11月1日

- ココのカギ
- 多方面の才能が豊か。多芸○○○
  - 最善
  - 家長が家督を譲って隠退する
  - 動力を与えて動かすこと。四輪○○○
  - 間くは一ときの○○○
  - 妨げること
  - すぐれた性能の器具。文明の○○○
  - 頭の後ろの部分。○○○○○を強打した
  - 芸術作品としての絵
  - 主役が○○○を持って登場
  - 居住用の建物
  - 同点。○○○○
  - 天祥座の次の星座は○○○○座
  - 手ばかりがなげよう気をつけ
  - 大いに残念がること。○○○○○
  - この次の期。○○○○の予算

- タテのカギ
- 大部分、おおかた
  - ほめ言葉。○○○を贈る
  - 投合し話が弾む
  - 全員が○○○同音にノーと叫ぶ
  - 音楽、映画、演劇等で楽譜や台本にないものを即興的に演ずる
  - KYとは「○○○が読めない」の略
  - 思いのほか。○○○○○な結果に驚く
  - 金銭、物資の使い道。○○不明
  - 魚へんに里と書く
  - 乾季
  - 最後まで走りぬくこと
  - リンゴを握りつぶす○○○○○の持ち主
  - 乾布○○○○で皮膚を鍛える
  - つまや、鉄道の停車場
  - 薄利○○○策で客がふえた
  - 自分一人だけの利益を図ること。○○主義
  - 人が乗るため牛馬の背に置く器具

### 7・8月号の解答 「ヤトイドメテックイ」



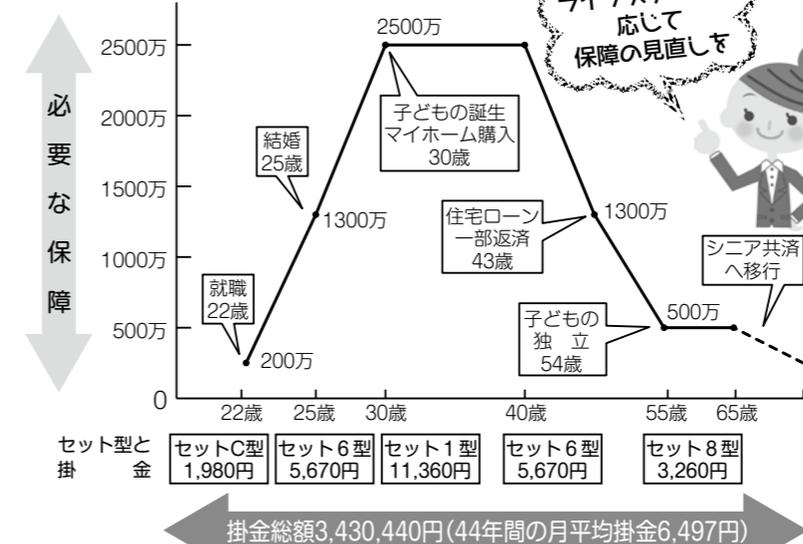
- 7・8月号クイズの正解者(当選者) 2020年7・8月号「クロスワードパズル」の正解は「ヤトイドメテックイ」でした。各職場からはがき9通、メール41通合計50人から解答をいただきました。抽選で次の5人のみなさんに図書カードを贈呈します。(敬称略)
- ▼ 笠井みゆき (大阪府職労)
  - ▼ 池側 将司 (堺市職労)
  - ▼ 松本真奈美 (松原市職労)
  - ▼ 岡 好美 (門真市職労)
  - ▼ 篠田 広明 (高槻市職労)

## 働く仲間のたすけあい 共済コーナー

### 必要に応じてムダなく備える

### もしもの時には「セット共済」と「貯蓄」で

(保障プランのイメージ)



結婚や出産、住宅購入など人生の節目、節目で万一の保障を見直すことが大事です。

1年更新のセット共済ならタイミングよく見直しができ、必要最小限の保障を担保しつつ掛金負担総額を抑えることができます。

左記の保障プラン例では、死亡保障・医療保障含めても、掛金総額は約343万円。44年間(22歳~65歳)で考えると、月額平均はなんと6,497円です(U40実施後6,025円)。

民間保険の保険料と比較すると、生涯における差額は数百万円単位になる場合もあります。差額を何にでも使える貯蓄に回して、もしもの時には「セット共済」と「貯蓄」で備えましょう。